

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【公開番号】特開2008-110034(P2008-110034A)

【公開日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【年通号数】公開・登録公報2008-019

【出願番号】特願2006-294568(P2006-294568)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月6日(2009.10.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

打ち込まれた遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤と、

所定の演出画像が表示される演出画像表示装置と、

前記遊技領域に設けられ、遊技球を受け入れ可能な受入口と、

前記遊技領域に設けられ、遊技球の受け入れが不可能な閉鎖態様と遊技球の受け入れが可能な開放態様との間で変位可能な開閉装置と、

機械的な抽選処理を行う機械的抽選装置と、

前記開閉装置から受け入れた遊技球を前記機械的抽選装置に案内し得る案内装置と、

前記機械的な抽選処理に当選したことに応じて遊技者に有利な特別遊技を行う特別遊技実行手段を少なくとも有する遊技制御手段と、

を備え、

前記遊技制御手段は、

前記演出画像表示装置にて表示される演出画像として、特定の画像が表示されるまでの時間がそれぞれ異なる複数の演出画像を少なくとも記憶する演出画像記憶手段、

前記受入口への遊技球の受け入れを検出する受入口検出手段、

前記受入口検出手段による前記受入口への遊技球の受入検出に基づいて内部的な抽選処理を行う内部抽選手段、

前記演出画像表示装置にて表示される演出画像を、前記受入口検出手段による前記受入口への遊技球の受入検出に基づいて行われる前記内部的な抽選処理に当選したことに応じて、前記演出画像記憶手段に記憶される前記複数の演出画像のなかから任意の演出画像に偏ることなくいずれかに選択決定する演出画像選択決定手段、

少なくとも前記演出画像選択決定手段により選択決定された演出画像が前記演出画像表示装置にて表示されるように表示制御する演出画像表示制御手段、

前記受入口検出手段による前記受入口への遊技球の受入検出に基づいて行われる前記内部的な抽選処理に当選したことに応じて、常には前記閉鎖態様に維持される前記開閉装置を、前記演出画像が表示されたのちに前記開放態様となるように変位させると共に、当該開放態様から再び前記閉鎖態様に変位させる開閉制御手段、並びに

前記開閉装置から受け入れた遊技球が特定のタイミングで前記機械的抽選装置に案内さ

れるように、前記案内装置の作動を制御する案内制御手段、
を有する遊技機であって、

前記案内装置は、前記開閉装置から受け入れた遊技球のうち1球のみを、前記特定のタイミングとしての前記開閉装置が前記開放態様に変位してから一定時間経過後に前記機械的抽選装置に案内すると共に、

前記1球の遊技球は、前記複数の演出画像のうち、前記受入口検出手段による前記受入口への遊技球の受入検出に基づきいずれか一の演出画像に選択決定された場合にのみ、前記機械的な抽選処理にて当選となるように前記機械的抽選装置に案内され得る
ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記開閉制御手段は、前記内部的な抽選処理に当選したことに応じて、常には前記閉鎖態様に維持される前記開閉装置を、前記演出画像に含まれる特定の画像が表示されたのちに前記開放態様となるように変位させるものであって、

前記機械的抽選装置は、一定の時間毎におとずれる当選タイミングで遊技球が案内されたときに当選となるように前記機械的な抽選処理を行うものであり、

前記複数の演出画像は、それぞれ、前記特定の画像が前記演出画像表示装置に表示されるまでの時間が所定時間ずつ異なる

ことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記1球の遊技球が前記当選タイミングとしての前記案内制御手段により遊技球が案内されたときに当選となる特定時間内に前記機械的抽選装置に案内され得る演出画像を当選演出画像としたとき、

前記一定の時間が前記複数の演出画像の数と前記所定時間とを乗じた値に相当すると共に、前記特定時間が前記所定時間とほぼ同じであることによって、前記受入口への遊技球の受け入れタイミングに拘らず、前記複数の演出画像に対する前記当選演出画像の比率と、前記一定の時間に対する前記特定時間の比率と、がほぼ同じになることを特徴とする遊技機である

ことを特徴とする請求項2に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

前記課題を解決するための本発明に係る遊技機は、打ち込まれた遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤と、所定の演出画像が表示される演出画像表示装置と、前記遊技領域に設けられ、遊技球を受け入れ可能な受入口と、前記遊技領域に設けられ、遊技球の受け入れが不可能な閉鎖態様と遊技球の受け入れが可能な開放態様との間で変位可能な開閉装置と、機械的な抽選処理を行う機械的抽選装置と、前記開閉装置から受け入れた遊技球を前記機械的抽選装置に案内し得る案内装置と、前記機械的な抽選処理に当選したことに応じて遊技者に有利な特別遊技を行う特別遊技実行手段を少なくとも有する遊技制御手段と、を備え、前記遊技制御手段は、前記演出画像表示装置にて表示される演出画像として、特定の画像が表示されるまでの時間がそれぞれ異なる複数の演出画像を少なくとも記憶する演出画像記憶手段、前記受入口への遊技球の受け入れを検出する受入口検出手段、前記受入口検出手段による前記受入口への遊技球の受入検出に基づいて内部的な抽選処理を行う内部抽選手段、前記演出画像表示装置にて表示される演出画像を、前記受入口検出手段による前記受入口への遊技球の受入検出に基づいて行われる前記内部的な抽選処理に当選したことに応じて、前記演出画像記憶手段に記憶される前記複数の演出画像のなかから任意の演出画像に偏ることなくいずれかに選択決定する演出画像選択決定手段、少なくとも前記演出画像選択決定手段により選択決定された演出画像が前記演出画像表示装置にて

表示されるように表示制御する演出画像表示制御手段、前記受入口検出手段による前記受入口への遊技球の受入検出に基づいて行われる前記内部的な抽選処理に当選したことに応じて、常には前記閉鎖態様に維持される前記開閉装置を、前記演出画像が表示されたのちに前記開放態様となるように変位させると共に、当該開放態様から再び前記閉鎖態様に変位させる開閉制御手段、並びに、前記開閉装置から受け入れた遊技球が特定のタイミングで前記機械的抽選装置に案内されるように、前記案内装置の作動を制御する案内制御手段、を有する遊技機であって、前記案内装置は、前記開閉装置から受け入れた遊技球のうち1球のみを、前記特定のタイミングとしての前記開閉装置が前記開放態様に変位してから一定時間経過後に前記機械的抽選装置に案内すると共に、前記1球の遊技球は、前記複数の演出画像のうち、前記受入口検出手段による前記受入口への遊技球の受入検出に基づきいずれか一の演出画像に選択決定された場合にのみ、前記機械的な抽選処理にて当選となるように前記機械的抽選装置に案内され得ることを特徴とする遊技機である。